作成例：医療業編（※）

※重油ボイラーを使用しており、メチルナフタレンが届出対象物質となっている場合の例です。

　　　　　化学物質自主管理マニュアル

平成●●年●●月

社会医療法人●●●

●●●病院

１　目的

これは作成例です

　　このマニュアルは、化学物質の環境への排出の抑制及び化学物質による事故の未然防止を図るため、札幌市生活環境の確保に関する条例(平成１４年条例第５号)第８５条の規定に基づき、化学物質の使用量・排出量等の把握、事故等による環境への拡散の防止等、化学物質の適正管理に必要な措置を定めるものである。

２　取り扱う特定管理化学物質の種類と使用目的、使用・製造の規模量等

|  |  |
| --- | --- |
| 　特定管理化学物質の条例番号 | ６６ |
| 特定管理化学物質名 | メチルナフタレン |
| 　使用目的 | 重油の成分(ボイラー燃料) |
| 　特定管理化学物質の年間使用量（※平成●●年度実績） | ●●●●　Ｋｇ（＝年間重油使用量（ＫＬ）×10.5） |
| 　使用施設の貯蔵能力 | 地上・地下タンク●●kℓ　×　●基 |
| 　担当部署名 | ●●●部(課) |

３　特定管理化学物質の取扱工程

 ボイラーの運転(●重油の燃焼)

|  |
| --- |
| 　排気ガス　大気へ排出 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　メチルナフタレンの排出係数

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　0.0525　kg/ｋℓ

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　ボイラー |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　地上（地下）タンク |  | タンクローリーで受入 |

４　管理方法に関する事項

これは作成例です

　⑴　保守管理

ア　重油使用ボイラー設備の概要と保守管理

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　　設備の概要 | 　　　　　管理状況 |
| 数 | 用途 | 設置場所 | 　日常点検 | 　　定期点検※ |
| 重油炊き還流ボイラー | ●基 | 暖房・給湯用 |  | 使用量、運転状況、周辺の異常の有無 | 専門業者●回/年 |
| 重油炊き冷温水発生機 | ●基 | 冷暖房用 |  | 専門業者●回/年 |
| 温水ヒーター | ●基 | 給湯用 |  | 専門業者●回/年 |
| ロードヒーティング用ボイラー | ●基 | 融雪用 |  | 専門業者●回/年 |

　　　※性能検査、燃料タンク・配管等の漏えい・亀裂等の点検

　　イ　排出状況の管理

　　　①　ばい煙濃度計を設置し、燃焼状態を常時確認

　　　　　ばい煙測定（●回/年）

　　　②　定期点検時に、空燃比などの燃焼状態を確認

⑵　特定管理化学物質の使用量の把握の方法

　ア　使用量

　　　　重油消費量（ｋℓ/年）　×　重油の比重　×　メチルナフタレンの含有率

　イ　大気への排出量

　　　　重油消費量（ｋℓ/年）　×　排出係数　0.0525kg/kℓ

⑶　特定管理化学物質の保管方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　貯蔵施設 | 　　　容　量 | 　　　材　質 |
| 地上(地下)タンク | ●●kℓ　×　●基 |  |

⑷　その他の管理方法

　　ア　ボイラー運転マニュアルの整備

イ　帳簿類の整備

　①　ボイラー運転日誌　　毎日の運転状況、点検等の記録

　②　燃料出納簿　　　　　毎日の燃料使用記録

　③　燃料成分表綴

　④　定期点検結果簿

５　事故等の防止対策

これは作成例です

　⑴　ボイラー運転マニュアルの遵守

　⑵　不備・不良個所の速やかな補修・改善

　⑶　緊急連絡体制の整備

６　管理組織

**（記載内容：ボイラーの管理・重油の管理に関わる部署を記載し、それぞれの部署の役割についても記載してください。）**